

時限表

テーマ	事業承継・廃業支援を見極めるポイント
研修のねらい	中小企業においては、経営者の高齢化が進む一方で事業承継への対策は進んでいないケースが多く、経営者に対して事業承継を早期に取り組むことの必要性の喚起と共に専門的な見地から解決策を提言することが必要となります。 本研修では、事業承継税制等、事業承継に関する専門知識とともに事業承継対策を進めるアドバイスに必要な知識、手法を習得します。また、事業承継が難しい小規模事業者等の廃業を見極めるポイントについて学びます。
受講対象者	事業承継支援に必要な知識について学びたい方
研修期間	令和6年7月29日(月)～7月31日(水) (3日間、21時間)
募集人員	25名
受講料	23,000円(税込)

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
7/29 (月)	9:20～9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30～12:30 (3.0H)	事業承継の実務 ※<理論政策>	事業承継支援を行うために必要となる専門知識について学びます。 【基本編】 ・事業承継の現状 ・親族内承継 ・MBO ・M&A	北海道事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 新宮 隆太 (中小企業診断士)
	13:30～16:30 (3.0H)		【応用編】 ・事業承継施策の活用 ・M&Aによるシナジー効果	
	16:30～17:30 (1.0H)		【総括】 ・事業承継支援の実務のポイントの整理・質疑応答	
	18:00～	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
7/30 (火)	9:00～11:00 (2.0H)	支援事例紹介	ドキュメンタリー動画を交えて支援事例紹介を行います。 ・親族内承継 ・MBO ・M&A	
	11:00～12:00 (1.0H)	事例研究	M&Aの事例研究 ・M&A譲渡側経営者の心情解析 ・M&Aの体験 ・中小企業M&Aとは何か？ ・次のオーナーになにを託したいか？ ・なぜ譲渡価額で妥協を強いられるのか？	中小企業診断士 北原 慎一郎 (元 北海道事業引継ぎ支援センター 統括責任者) コーディネーター 前掲 新宮隆太
	13:00～18:00 (5.0H)	事業承継支援ケーススタディ (演習)	1. ケーススタディ演習 架空の事業承継相談に対して、グループごとにケーススタディに取り組んでいただきます。 ・親族内承継 ・社内役員承継 ・M&A承継 2. ケーススタディ発表 各グループにおいて導いた答えを発表いたします。 3. ケーススタディ総括 各ケーススタディに対する総括を行い、実際の事業承継支援を疑似体験した感想を発表していただきます。	前掲 新宮 隆太
7/31 (水)	9:00～12:00 (3.0H)	廃業支援の理論	廃業支援に必要な実務知識を学び、具体的な進め方について理解します。 ・廃業支援が必要になった背景 ・私的整理と法的整理 ・法人の清算手続 ・清算手続きの選択 (メリット・デメリット・スケジュール感・費用感) ・個人事業廃業の特殊性	札幌総合法律事務所 弁護士 田代 耕平
	13:00～15:00 (2.0H)		【その他】 ・債務超過時における事業承継(事業再生・第2会社方式等) ・取引先廃業の際の対応(債権回収)	
	15:00～16:00 (1.0H)	廃業支援の実務(演習)	模擬相談を通じた演習 ・清算手続きの選択 ・債権回収の手法	
	16:00～16:20	終講式		

※カリキュラムは変更する場合があります。

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回

(研修時間数 21.0H)